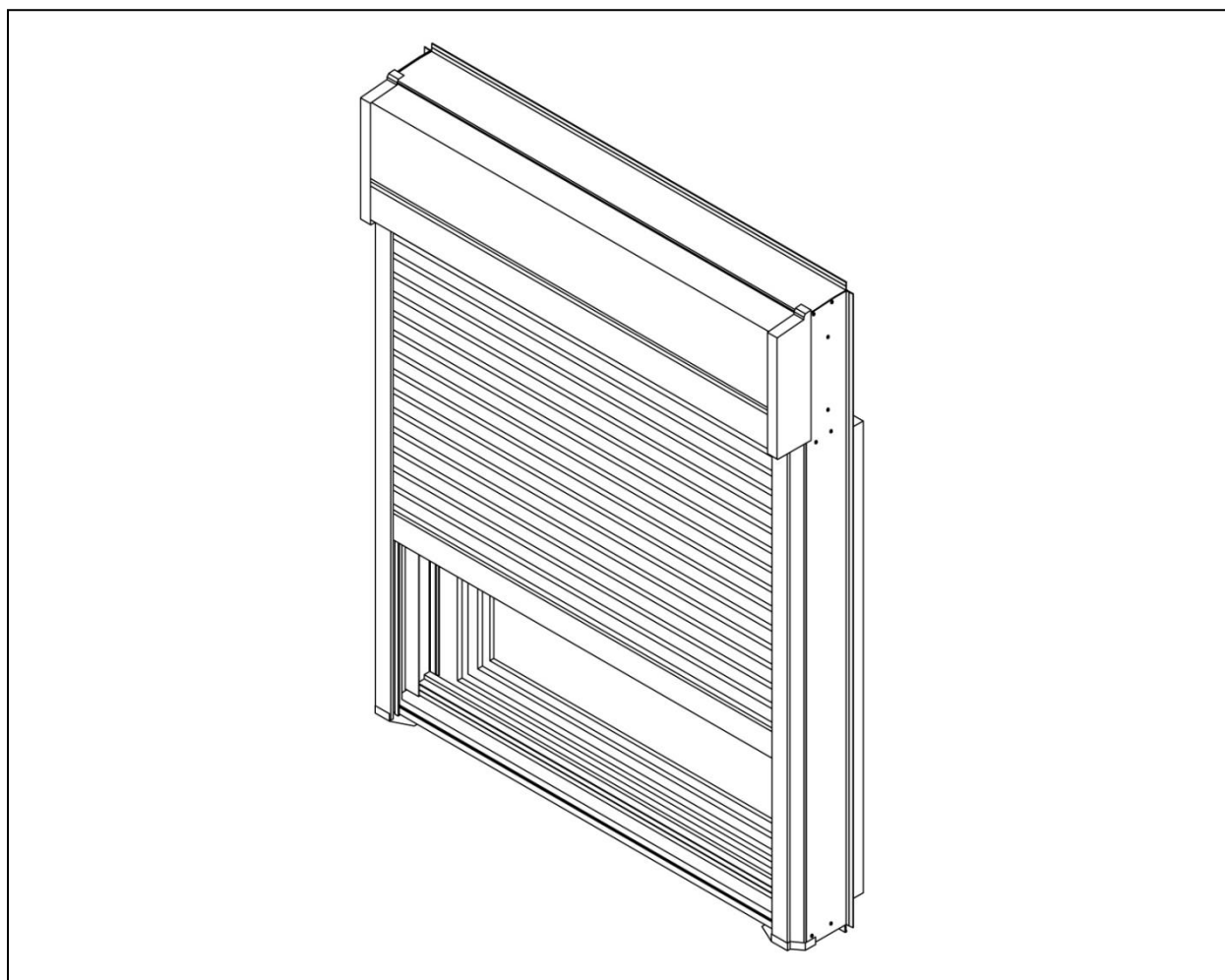


窓シャッター電動式

取扱説明書



この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・販売店・お施主様へ
この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。

販売元：株式会社エクセルシャノン
製造元：三和シャッター工業株式会社

ごあいさつ

この取扱説明書は、『窓シャッター電動式』を安全にご使用いただくためのガイドブックです。当商品をご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解されたうえでご使用ください。また、『ご使用上の注意』に記載されている事項は、守らないと重大な人身事故につながるおそれもありますのでよくお読みになり、正しくご使用ください。

この取扱説明書をお読みになった後は、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様に特に注意していただきたい事項に、右記のようなマークと見出しをつけています。この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をよくお読みいただき、十分ご理解のうえ注意してご使用ください。



警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示します。



このマークのあるイラストは、してはいけない「禁止行動」を示しています。

目次

	ページ
安全にお使いいただくために	1
ご使用上の注意	2、3、4
1. 各部の名称	5
2. 仕様	5
3. 操作方法	6、7、8、9、10、11、12
3-1 リモコン(MRX-W30)による操作方法	6、7、8
3-2 操作スイッチによる操作方法	9
3-3 施錠・解錠の操作	10
3-4 障害物検知装置の説明	11
3-5 停電時の手動操作	12
3-6 停電復旧後の操作方法について	12
3-7 防犯機能について	12
3-8 開閉時のシャッターの動きについて	12
4. 日常点検	13
5. 異常時の処置	13
6. お手入れ(清掃)方法	14
7. 商品保証に関する説明	15
8. 修理・サービスについて	16

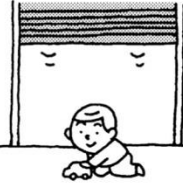
ご使用上の注意



警告

- ・ 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

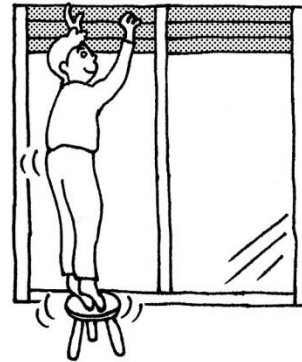
- ・ シャッターを動かす場合は、シャッターの下に人がいないことを確認したうえで操作してください。シャッターは自動運転のため、幼児などがはさまれると重大な事故となるおそれがあります。
- ・ 幼児やペットなどにリモコンを触らせないでください。意図せぬ誤作動によりはさまれ事故となるおそれがあります。



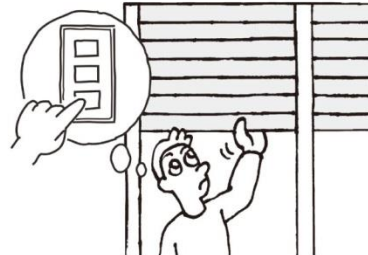
- ・ リモコン
- ・ 操作スイッチ

● 停電時操作の場合

停電時の操作に当たっては、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行ってください。
(→停電時の手動操作 12 ページをお読みください。)



シャッターを操作しても動かない場合、シャッターに触れたり、シャッターの下にいないでください。シャッターが突然降下し、はさまれて重大な事故となるおそれがあります。
(→異常時の処置 13 ページをお読みください。)

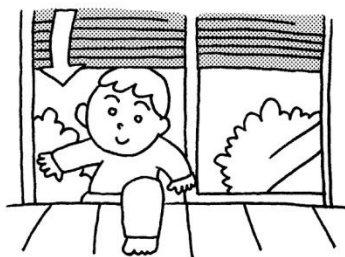


ズボンのポケットなどには絶対にリモコンを入れないでください。
意図せぬ誤作動によりはさまれ事故やリモコン破損の原因となるおそれがあります。

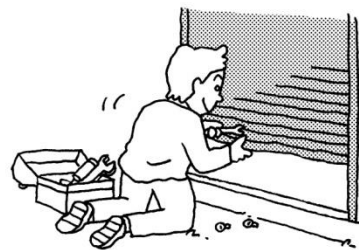


ご使用上の注意

! **注意** : 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



シャッターの開閉中は下を通らないでください。シャッターにはさまれケガをするおそれがあります。



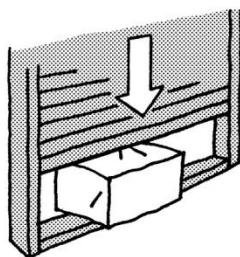
改造、修理、分解は行わないでください。故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。



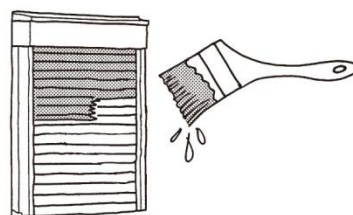
シャッターケースやスラットにハシゴをたてかけたり、物をぶつけないでください。変形したり、シャッターが動かなくなるおそれがあります。



水切板を踏み付けないでください。滑って転倒したり、水切板が変形するおそれがあります。



シャッターの開閉に支障となるようなもの（植木・箱など）を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。



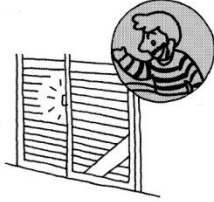
スラットに、塗装を行わないでください。故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。



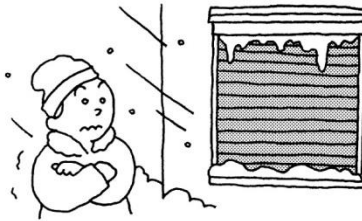
シャッターケースの内部に水を吹きかけないでください。感電や火災、故障の原因となります。

ご使用上の注意

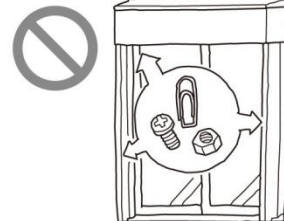
お願い



外出時または雨、強風、就寝時はシャッターを完全に閉め、室内のサッシも施錠してください。空き巣などに侵入されるおそれやシャッターが破損するおそれがあります。



冬期、シャッターが凍結した場合は、溶けるまで待ってから開閉してください。無理に操作を行うと、破損するおそれがあります。



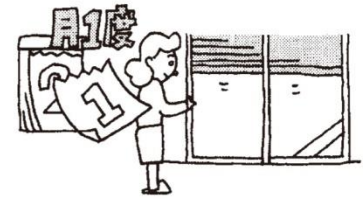
ガイドレールやシャッターケースの内部に物を差し込んだり、落とさないでください。故障のおそれがあります。



停電時は電動による操作ができません。電源が復帰するまでお待ちいただくか、停電時の手動操作(12ページ参照)に従って操作してください。



連続運転は避けてください。長時間連続運転しますと、モーターの温度上昇のため、一時的に開閉できなくなります。



最低1ヶ月に1度以上は開閉操作を行ってください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。

窓シャッターについて

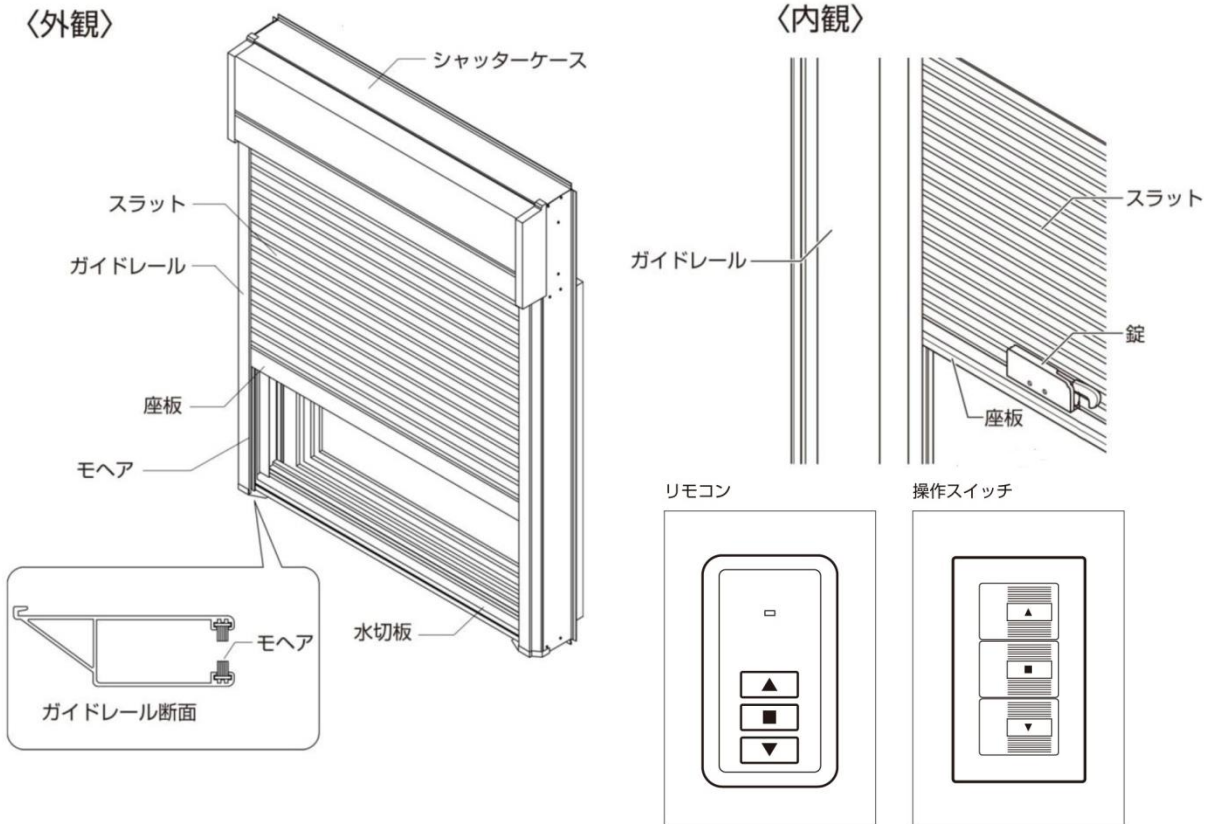
- シャッターが全閉状態でも、強い降雨時にはスラット表面から内側に水が伝わり、スラットの内側が濡れることがあります。品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- スラットの表面に、雨などの水分が付着した状態でシャッターを開閉すると、水滴が落ちてくる場合があります。これはシャッターが巻き取られる際に、スラット表面の水滴が内側に付着するためです。品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- シャッターが全閉状態でも、強風によりスラットがばたつき、音がすることがありますが、異常ではありません。
- シャッターが全閉状態でも、構造上外からの光が入ることがありますが、異常ではありません。

当商品では、お客様に特に注意して正しくご使用いただくための「警告ラベル」をリモコンの裏面に貼り付けています。十分ご理解のうえご使用ください。

警告	
○ シャッターの下に人や障害物がないことを確認した上で操作してください。	
○ お子様やペットなどに触れさせないでください。	
○ スポンのポケットなどには絶対に入れないでください。	
MODEL	MRX-W30
LOT	
CODE	
電池	単4形(LR03)2個

<リモコン>

1 商品のタイプと各部の名称



2 仕様

■材質

スラット	カラー鋼板
シャッターケース	カラー鋼板
ガイドレール・水切板・座板	アルミ型材

■開閉機

電源	単相 AC100V (50/60Hz)
消費電力	40W 以下 (待機時 2W 以下)
開閉速度	約 3m / 分
障害物検知	過負荷検知式
停電時操作	手動開放式

■リモコン (MRX-W30)

規格名	※ 特定小電力無線局テレメーターおよびテレコントロール用無線設備 (STD-T67)
到達距離	約10m (使用環境により異なります)
電源	アルカリ単4形乾電池 (LR03) 2本
電池寿命	1日10回の操作で約2年

※ 本商品は特定小電力無線設備です。(総務省：証明規則第2条第1項第8号の無線設備)
 このため電波を連続して送信できない制限 (送信時間制限) があります。
 適用規則等：無線設備規則第49条の14、郵政省告示平成元年第49条

■使用条件

高さ制限	地上3階以下 (≦ 10m)
周囲温度	-10 ~ +40°C (凍結状態は除きます)
周囲湿度	RH85% 以下

3 操作方法



警告

シャッターを動かす場合は、シャッターの下に人がいないことを確認した上で操作してください。シャッターは自動運転のため、お子様などがはさまれると重大な事故となるおそれがあります。



注意

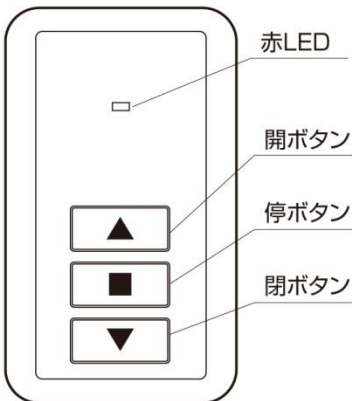
- 開閉時はシャッターの下や周りに、人や物がないことを確認してください。はさまれてケガをしたり、物を破損するおそれがあります。
- シャッターを開けるときは、錠を必ず解錠してから開けてください。施錠したまま開操作をしてしまった場合は、一度全閉させてから、錠を解錠し、再度シャッターを開けてください。

3-1 リモコン(MRX-W30)による操作方法



注意

リモコンのスイッチ部はとがったもので押さないでください。表面のシートが破れるおそれがあります。



[リモコン：MRX-W30]

開けるとき	開ボタン を押してください。
止めるとき	停ボタン を押してください。
閉めるとき	閉ボタン を押してください。
障害物検知装置が働いたとき	● シャッターが下降中、障害物により、シャッターカーテンに負荷がかかると、約 10 秒間上昇し、停止します。 ● 障害物を取り除いた後、正常に動作するか確認してください。

※シャッターを開けて（閉めて）いる途中で、反転させる場合は、必ず一旦 停ボタンを押してシャッターを止めてから閉める（開ける）操作を行ってください。

※ 1 台のリモコンを複数のシャッターに設定している場合、一斉に動作します。

※赤 LED はボタン操作時（信号送信時）に点灯します。点滅している場合は、リモコンの電池が消耗しています。電池交換をしてください。

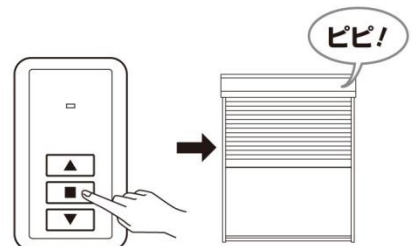
（ リモコンの電池交換方法 7、8 ページ参照）

「半開動作」について

予め設定しておいたお好みの中間停止位置に自動停止させることができます。

(1) 「半開動作」の設定方法

- ① お好みの中間停止位置でシャッターを一旦停止させてください。
- ② 停止している状態で 停ボタンを押しつけてください。（約5秒間）
- ③ シャッターケースから「ピピ！」という音が聞こえたら設定完了です。



(2) 「半開動作」の操作方法

開ボタンと 閉ボタンを同時に押してください。設定した中間停止位置でシャッターが自動停止します。

(3) 手動操作後、停電後等の「半開動作」復旧方法

※ 手動操作から電動操作へ切り替えた後、または停電並びに配電ブレーカをOFFからONにした後は、シャッターを1往復させないと「半開動作」の設定及び操作はできません。その場合には、次の操作を行ってください。

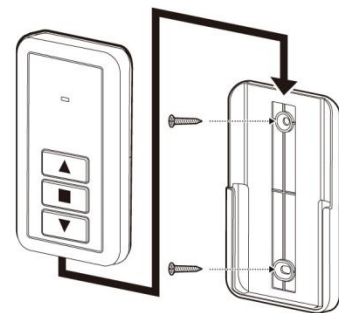
- ① 開ボタンを押して、全開状態で自動停止するまで動かしてください。
- ② 閉ボタンを押して、全閉状態で自動停止するまで動かしてください。

お願い

- 操作方法を十分ご理解のうえ、ご使用ください。
- 設置時にリモコンに入れている電池は動作確認用です。新しい電池と交換してください。
- 本リモコンは電波法の送信時間の制限により、操作後 2 秒間は停ボタン以外の操作を受け付けません。2 秒以上間隔をあげ、もう一度操作ボタンを押しなおしてください。
- リモコンの操作ボタンは 1 秒以上確実に押してください。
- リモコンは直射日光があたるところに放置しないでください。劣化を早める原因になります。
- リモコンを投げたり、落としたり、激しい衝撃が加わる乱暴な扱いをしないでください。
- リモコンに水をかけたり、湿気の多い所での使用は避けてください。
- 停電時はリモコンでの操作はできません。
- 長期間ご使用にならない場合は、腐食防止のためリモコンの電池を抜いてください。
- リモコンを改造しないでください。電波法違反となります。

■お客様自身でリモコンホルダーを壁等に取り付ける場合

- ①リモコンホルダーを付属の木ネジでしっかり壁等に取り付けてください(木下地がある場合)。壁材が石膏ボードの場合は、ボードアンカー(別途手配)を使用して取付けてください。
 - ②リモコン側面の溝をリモコンホルダーの両側のガイド部に差し込んでください。
- ※リモコンホルダーは事前にリモコン操作ができる場所であることを確認してから取り付けてください。
仕様の範囲内であっても場所によっては電波が届きにくいことがあります。



リモコンホルダー

■リモコンの電池交換方法



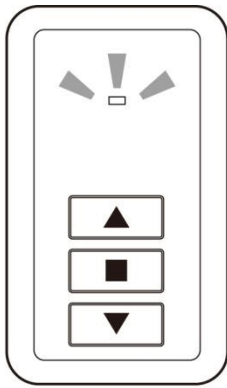
警告

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混用しないでください。特性の違いから、電池が漏液、発熱、破裂、発火するおそれがあります。

リモコンの到達距離が短くなった場合や、ボタン操作時にリモコンの赤 LED が点滅する場合は、新しい電池と交換してください。

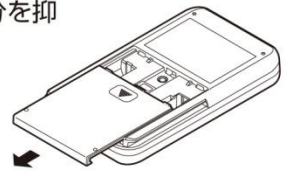
お願い

- 使用期限の過ぎた電池を使用しないでください。リモコンが故障するおそれがあります。
- 電池はアルカリ単 4 形乾電池 2 本を使用してください。異なる型式の電池や、充電式電池は使用できません。
- 電池の+、-を間違えないように入れてください。リモコンが正しく機能せず、故障の原因にもなります。
- 電池金具（電池が接触する金属）を变形させないでください。接触が悪くなりリモコン操作ができなくなるおそれがあります。
- リモコン内部に水、ごみ、ほこりを入れないように、注意してください。リモコンが故障するおそれがあります。
- 腐食防止のため、定期的な電池交換をおすすめします。古い電池の使用は液漏れのおそれがあり、内部回路の腐食の原因となります。
- 電池交換は下記の手順どおり行ってください。手順を間違うとリモコンが破損するおそれがあります。
- 電池交換の際は、電池のパッケージに記載されている取り扱いに関する注意事項もお読みください。
- 使い終わった電池は、お住まいの自治体のルールに従って処理をしてください。

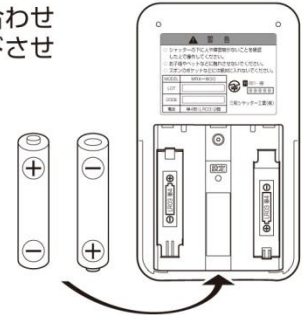


電池が消耗すると、ボタン操作時に赤LEDが点灯から点滅に切り替わります

手順① リモコン背面の電池カバーのマーク部分を抑え、下にスライドし、取り外してください。



手順② リモコンの電池マークに電池の向きを合わせて電池を挿入し、電池カバーをスライドさせカバーを閉じてください。



■リモコンの追加

リモコンを追加したい場合や、破損、紛失した場合は、施工店様、または建設会社様に以下の内容をご連絡ください。

- ①本商品の名称:窓シャッター用電波式リモコン「MRX-W30」
- ②リモコン裏面のラベルに記載された「CODE番号」

同じCODE番号のリモコンをご用意いたしますので、お客様による作業は必要ありません。

お願い

窓シャッター設置後、下記に窓シャッター設置箇所ごとにリモコンの「CODE番号」をお控えいただくことをお勧めいたします。

※「CODE番号」がご不明の場合は、新しいCODE番号のリモコンをご用意いたします。その際には作業員により、窓シャッター本体に新しいCODE番号の登録、古いCODE番号の消去作業が必要となります。

CODE番号を控えてある場合

右記欄のCODE番号を施工店様、または建設会社様に伝えてください。


同じCODE番号のリモコンをご用意いたします。

リモコン裏面のラベルをご確認いただき下記にCODE番号をご記入ください。

場所	CODE番号
例:リビング南面	例:ABCD1234

警告

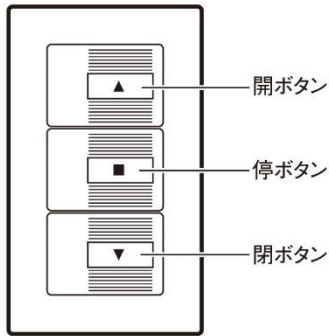
- シャッターの下に人や障害物がないことを確認した上で操作してください。
- お子様やペットなどに触れさせないでください。
- スポンのポケットなどには絶対に入れないでください。

MODEL	MRX-W30	 R 001-※ ※※※※※
LOT	※※※※※	
CODE	※※※※※※※※	
電池	単三形 (R03) 1.5V	




リモコン裏面ラベル

- ご使用場所ごとの記入をお勧めします。
- CODE番号は8桁の英数字となっています。

3-2 操作スイッチによる操作方法




[操作スイッチ]

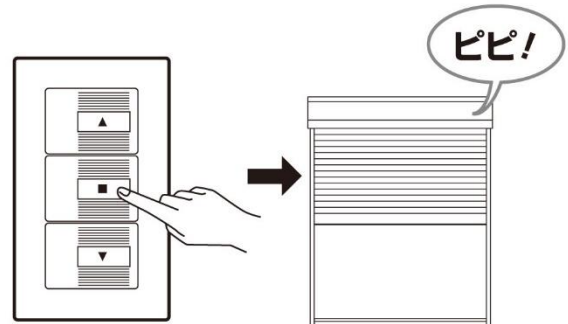
開けるとき	開ボタン  を押してください。
止めるとき	停ボタン  を押してください。
閉めるとき	閉ボタン  を押してください。
障害物検知装置が働いたとき	<ul style="list-style-type: none"> ●シャッターが下降中、障害物により、シャッターカーテンに負荷がかかると、約 10 秒間上昇し、停止します。 ●障害物を取り除いた後、正常に動作するか確認してください。

「半開動作」について



予め設定しておいたお好みの中間停止位置に自動停止させることができます。

(1) 「半開動作」の設定方法

- ① お好みの中間停止位置でシャッターを一旦停止させてください。
- ② 停止している状態で  停ボタンを押しつづけてください。(約5秒間)
- ③ シャッターケースから「ピピ！」という音が聞こえたら設定完了です。





(2) 「半開動作」の操作方法

 開ボタンと  閉ボタンを同時に押してください。設定した中間停止位置でシャッターが自動停止します。

(3) 手動操作後、停電後等の「半開動作」復旧方法

※ 手動操作から電動操作へ切り替えた後、または停電並びに配電ブレーカをOFFからONにした後は、シャッターを1往復させないと「半開動作」の設定及び操作はできません。その場合には、次の操作を行ってください。

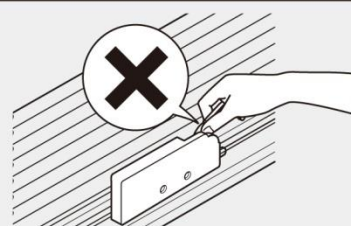
- ①  開ボタンを押して、全開状態で自動停止するまで動かしてください。
- ②  閉ボタンを押して、全閉状態で自動停止するまで動かしてください。

3-3 施錠・解錠の操作



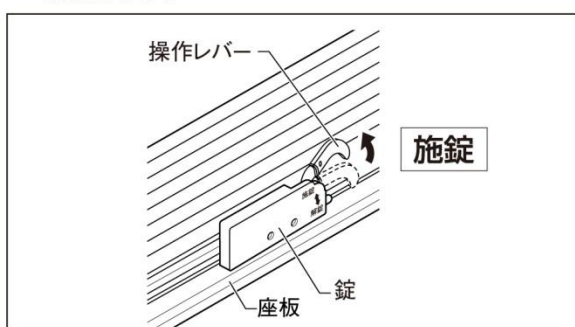
注意

操作レバーを根元で操作しないでください。
指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



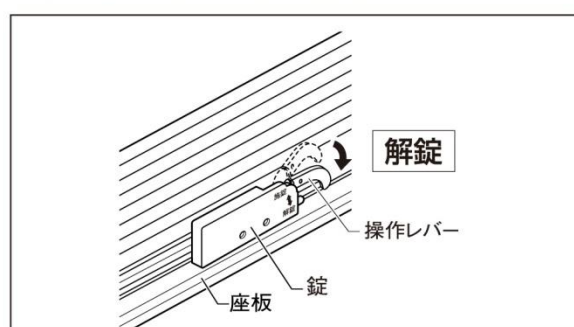
■ 施錠方法

シャッター全閉後、操作レバーを上げると
施錠します。



■ 解錠方法

操作レバーを下げると解錠します。

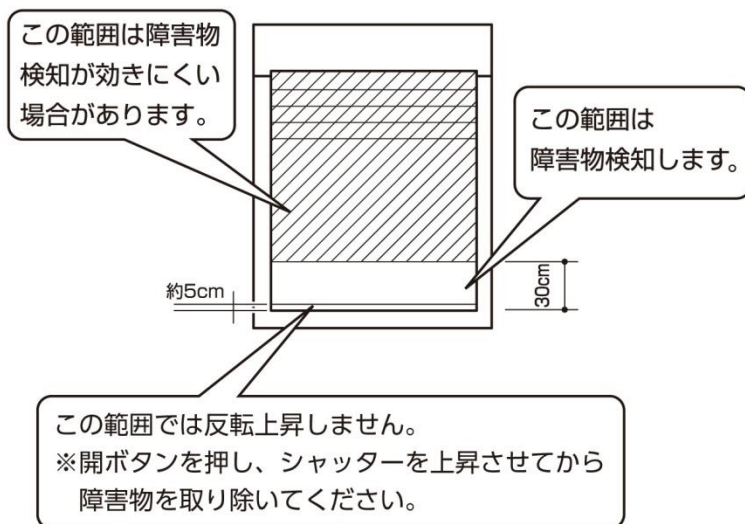


※ シャッターを開けるときは、必ず解錠してから開けてください。施錠したまま開操作をしてしまった場合は、一度閉ボタンにより全閉させてから、錠を解錠し、再度シャッターを開けてください。

3-4 障害物検知装置の説明

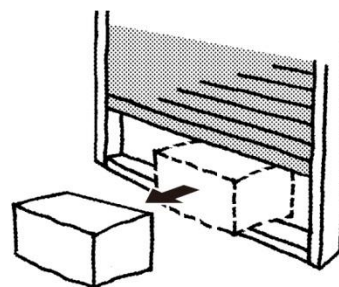
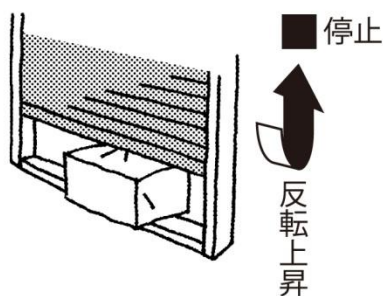
⚠ 注意

- 当商品の障害物検知装置は、水切板と座板との間に人や物がはさまれた場合を想定しております。水切板から 30cm より上では効きにくい場合があります。また、停止寸前の水切板約 5cm 上では、反転上昇しません。
- シャッター操作後はシャッターが閉まりきったことを確認してください。障害物により反転上昇すると自動では閉まりませんので防犯性が保てなくなります。



- (1) シャッターが下降中、障害物によりシャッターカーテンに負荷がかかると約 10 秒間上昇し、停止します。停止後、開閉機から報知音「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」が鳴ります。
- (2) 障害物を取り除いた後、正常に動作するか確認してください。

※本シャッターの特性上、停止または、反転上昇が開始するまで時間が掛かる場合があります。ご了承ください。

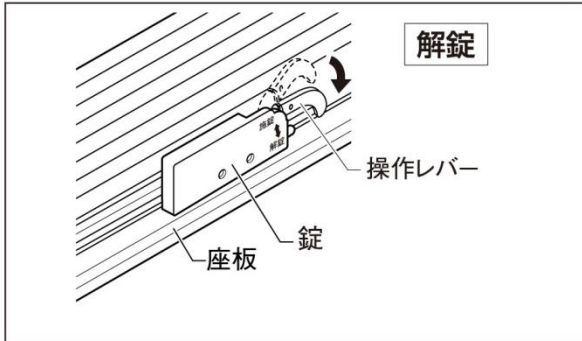


3-5 停電時の手動操作

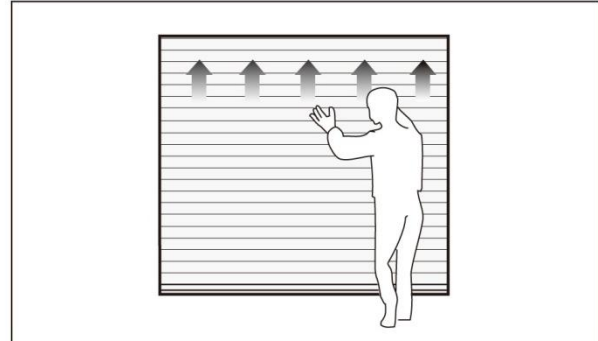


警告

停電時の操作に当たっては、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくこととなります。窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行なってください。



(1) 操作レバーを下げて解錠します。



(2) シャッターカーテンの出来るだけ上の部分に手のひらを押し当てて、斜め上方向に持ち上げるようにゆっくりとシャッターを上げてください。

3-6 停電復旧後の操作方法について

お願い

停電復旧後、必ず次の(1)～(2)の操作を行なってください。

この操作を行なわないと、

- 障害物を検知した際に、停止のみで反転上昇しません。
- 全閉時に、スラットが波打った状態になることがあります。

(1) 開ボタンを押し、一度全開させてください。

※ 全開の状態でも開ボタンを押してください。

(2) 全開状態から、閉ボタンを押して全閉させてください。

3-7 防犯機能について



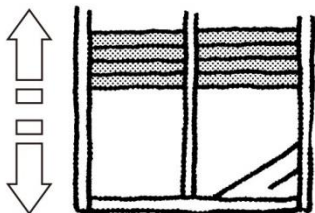
注意

「防犯機能」は補助的な機能です。就寝、外出時は、シャッターを閉め、座板に錠がある場合は施錠し、室内のサッシも施錠してください。

防犯機能…外部からシャッター座板を持って、無理に開けようとすると、シャッターケース内のモーターがロックし、シャッターが開けられるのを防止する機能です。作動条件は下記のとおりです。

- 通電時(通常のご使用状態)、全閉しているときにのみロックします。
全閉位置以外で停止している状態ではロックは作動しません。
- 停電時やブレーカが落ちている状態ではロックしません。
長期外出時には必ず錠を施錠してください。

3-8 開閉時のシャッターの動きについて



当商品は、上部巻取り部分のスプリングでバランスさせたシャッターカーテンをモーターで開閉する構造になっています。バランス状態によっては、開閉中にシャッターカーテンが小刻みに動く場合もありますが、故障ではありません。安心してご使用ください。

4 日常点検

シャッターの開閉状態について、以下の事項を確認してください。

- 今までと異なった音がしないこと。
- 今までと異なった振動がしないこと。
- 外観に使用上有害な変形がないこと。
- 全開、全閉で停止すること。
- シャッターカーテンが傾いていないこと。
- 障害物検知が作動すること。(点検方法は「3-4 障害物検知装置の説明」参照)

異常がありましたら直ちに使用を中止し、施工店様、または建設会社様までご連絡ください。

5 異常時の処置

修理依頼の前に必ず次のことを確認してください。それでも正常に動作しない場合はご連絡ください。

※異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、施工店様、または建設会社様までご連絡ください。

異常の内容	原因	処置方法
リモコン・操作スイッチの開・閉ボタンを押してもシャッターが動かない。	連続運転によりモーターが過熱して、停止機能が働いた。	10分程度休ませてから操作してください。
	ご家庭のブレーカが落ちている。	ブレーカをONにしてから操作をしてください。
	停電している。	停電が復旧してから操作をしてください。
	座板についている錠を施錠したまま操作している。	解錠してから操作をしてください。 本書10ページをご参照ください。
	シャッターが凍結している。	溶けるのを待って操作してください。
	駆動機構が経年劣化により故障している。	直ちに使用を中止して、施工店様、または建設会社様までご連絡ください。
シャッターがスムーズに開閉しない。	シャッターケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は施工店様、または建設会社様までご連絡ください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、サビがある。	施工店様、または建設会社様までご連絡ください。
	スラットが片側に寄ってずれている。	
	モヘアが経年劣化により磨耗している。	
シャッターの開閉時に異音がある。	シャッターケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は施工店様、または建設会社様までご連絡ください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、サビがある。	施工店様、または建設会社様までご連絡ください。
	スラットが片側に寄ってずれている。	
	モヘアが経年劣化により磨耗している。	
施錠できない。	座板についている錠が破損している。	
リモコンのボタンを押しても動かない。	リモコンの電池が消耗している。 電池の極性(+-)が逆になっている。	電池を交換、または極性を確認してください。
	リモコンの操作範囲外で操作している。	操作範囲(10m以内)で操作してください。
	熱反射ガラス等が使用されている。	リモコンの設置位置をシャッターに近づけてください。
リモコンの操作距離が短くなった。	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。
リモコンのボタンを押すと、赤LEDが点滅する。または点灯しない。	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。

6 お手入れ（清掃）方法



注意

お手入れの前に、必ず下記の事項を守ってください。

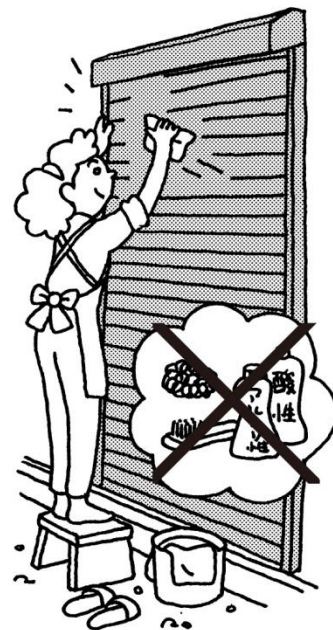
- お手入れ時は危険ですので、シャッターを動かさないでください。
- お手入れ時は安定した足場を確保し、十分注意してください。
- シャッターケース内に水をかけないでください。故障の原因になります。

シャッターを長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

- ガイドレールの底に入ったゴミや異物は故障の原因になりますので、取り除いてください。
- 日頃のお手入れは、羽根バタキ・ハンディモップなどでホコリを落としてください。
濡れた布などで汚れを拭きとった後は、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、次の手順で清掃してください。
 - (1) シャッターケース内に水が入らないよう注意して水で汚れを洗い落としてください。
 - (2) 水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を含ませたスポンジまたは布で拭き取ってください。
 - (3) 表面に洗剤と汚れが残らないように十分に水洗いしてください。
 - (4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。

※シンナーなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
サビや変色の原因となります。

※金属たわしやワイヤブラシなどは使用しないでください。表面に傷がつきます。



7 商品保証に関する説明

保証内容	取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適切なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合は、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。 なお、強風雨時に雨水が浸入することがありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。
保証期間	施工者様からの引渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）とさせていただきます。 （注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。 （注2）分譲住宅（建売住宅）の場合は、建築主様への引渡し日とします。 施工者様からの引渡し日が特定できる書類などを大切に保管してください。 なお、施工者様からの引渡し日が不明な場合や、品質保証書の発行が必要な場合は、お手数でも施工者様までお問い合わせ願います。
免責事項	保証期間内でも、次の様な場合は有料修理となります。 <ol style="list-style-type: none">1. 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、暴雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、津波、噴火など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。2. 自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば結露・凍結、風による振動・共鳴音など）。3. 環境が悪い地域や場所での腐食またはその他の不具合（例えば海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。4. 表示された商品の性能を超えたことに起因する不具合（例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど）。5. 建築躯体の変形など、商品以外の不具合に起因する商品の不具合。6. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。7. 当社の手配によらない第三者の加工上、組み立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）8. お客様自身の組み立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。9. 引渡し後の操作誤り、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。10. 使用に伴う接触部分の摩耗・傷、塗装の剥離や時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴うさびなどの不具合。11. 実用化されている科学や技術では、予測することや予防することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合。12. 犬、猫、鳥、鼠、昆虫、ゴキブリ、蜘蛛などの小動物の害による不具合。13. 機能上支障のない音、振動など感覚的現象。14. 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。15. リモコン携帯時の落下や衝撃など、お客様のお取り扱いが適正でなかったことにより生じた故障。16. リモコンの電池の消耗による不動作。17. その他、不具合の原因が第三者にある場合。
その他	保証期間経過後の修理、交換などは有料となります。

8 修理・サービスについて

商品についてのご相談、ご用命をお気軽にお申し出ください。

長期間、商品をご使用になりますと、ねじのゆるみガタつきなどの不具合が発生することがあります。その際、ご自身で修理したり、改造したりしないでください。ケガや家財の損害の原因になるおそれがあります。

故障や破損など不具合が生じた際には、施工店様、または建設会社様へお問合せください。

メンテナンス履歴

名刺貼り付け

名刺貼り付け

<http://www.excelshanon.co.jp/>

2021年1月改訂
管理番号：ESTAE2101